

（内國社印行）

# 新年の辭にかへて

要する官業労働者兄弟等よ、大正十一年の新しい春は

買入にも、労働者にも神様は平等に祝福して呉れたので

買入りです

月然り、愛する兄弟諸君よ、このお目出度から、き新年の早々に天下に呼

ばせなければならぬ事は、去年以來宿題とし残された、軍備制限に係る官

業労働者及び造船界五十万の失業者及家族の飢餓は目前に迫つた、そしてこ

の恐ろしい事は、三月中に決定されるべきは時は三月中に決定されるであらう。

吾等は失業を恐れる、一家を引連れて路頭に迷ふその恐ろしさを夢みた時に

身の毛はよだつ、けれども吾々は唯だ恐れてゐる必要はない、日本の憲法

には人民の生存権を認めてゐる。認めてゐる以上國家は人民の餓死する有様

を見送すわけには行かない。况や兵器、造船廠、造船廠上は國事多端の際に大いなる

怒力を拂つた。

故に官業労働者を一汗の汗命で失業すると云ふ事は罪惡である、故に吾等

は熾烈の要求として吾等の生存権の獲得運動を起す事は正義であると同時に

權利がある。

愛する兄弟諸君よ、吾等は唯だ死する必要はない。徹底的に倒れて後已

まらぬ、労働者の生存権運動は、労働運動だ、國家が憲法で生存権を認めてゐ

る以上、労働運動を認めねわわけにも行かない、失業手當二ヶ年分も、最低

賃金二圓五十錢も、諸君の團結如何の問題だ、この運動に参加しない者は勞

働者にして労働者にあらず。彼等は労働者の仇敵だ。吾等は新年早々に横須賀に

二月八日又九州八幡に一月十三日官業職工の大會を開き、二月の九日、三

日間東京に官業労働者同盟第三回定期大會を開催する、そして政府を動か

し、議會を通じ政黨を動かしてよりよい効果を待とう。尚二月十一日東京在住の

官業職工の大示威運動を決行する、諸君、新年もお目出度い日より以上諸君

の生活は肝要だ。故に新年早々愛する兄弟の組織たる總協を立ち立て、大連

働に猛烈な決起せられん事を、五十万の失業者の爲めに切に望みます

大正十一年一月廿日 日本労働聯盟

を代表して

横安 田達 晃 和